

エボラ出血熱対策に関する WHO ミッションへの日本人専門家参加の概要

参加する専門家：1名

参加予定期間：平成27年5月中旬出国－6月下旬帰国

訪問予定先：シエラレオネ

目的：エボラ出血熱対策に関するWHO ミッションに専門家として参加し、現地のエボラ出血熱に関する疫学調査を行う。

日本におけるWHO ミッションへの日本人専門家派遣の実績：

平成12年にウガンダにおいてエボラ出血熱の流行が発生した際、WHO の要請を受けて、3回にわたり計5人(延べ6人)の専門家が派遣されています。

平成24年にウガンダにおいてエボラ出血熱の流行が発生した際、WHO の要請を受けて、1名の専門家が派遣されています。

平成26年度以降、今回の派遣により、WHO ミッションに参加する日本人専門家は延べ20名になります。

参考（厚生労働省検疫所ホームページ）：

・エボラ出血熱

<http://www.forth.go.jp/useful/infectious/name/name48.html>